

Bulletin
of
Kagoshima Junshin Junior College

No.45

Article

- The Person and the Community in Johannes Messner
- On the Principle of Subsidiarity and the Common Good -
.....Wataru Sasaki and Keiko Sasaki (1)
- The Possibility of Subsidiarity in Thomas Aquinas
- On Distributive Justice and the Common Good -
.....Wataru Sasaki and Keiko Sasaki (15)
- A Study on What Students Learn through Interaction with Children (2)
- Through the comparison of post-report -
.....Fukiko Masuda (25)
- Understanding and Support for People with Developmental Disabilities :
Present Conditions and Problems of Kagoshima
.....Yoko Dohara, Hiroshi Kiyohara and Takahiro Tanabe (35)
- How University Knowledge and Skill Contributes to the Regional Area :
Eleven Years Promoting Ohshima Tsumugi for Use in Western-style Garments
.....Kimiko Nishinosono, Natsue Yanaidani and Anri Tanimiya (59)
- The Allure of Fantasy, Part Two
.....John de Gruchy (75)
- Report
The Challenge of Constructing an "ehon database" at Kagoshima Immaculate
Heart College Library
.....Tomoka Moriki (87)
- G Project 2013
- Be myself: Let's Express an Honest Feeling -
.....Wataru Sasaki, Hatsuyo Morinaga, Chizuru Hamasaki,
Tamie Nakamura and Katsuyuki Suenaga (95)
- The Management and Operation of Moodle at Kagoshima Immaculate Heart College
- Student Support and Educational Support Website -
.....Masaharu Terada and Katsuyuki Suenaga (115)

2015

研究紀要

第45号

研究論文

- ヨハネス・メスナーにおける個と共同体
- 補完性の原理と共同善 -
.....佐々木 亘, 佐々木恵子 (1)
- トマス・アキナスにおける補完性の可能性
- 配分的正義と共同善 -
.....佐々木 亘, 佐々木恵子 (15)
- 子どもとのかかわりを通じた学生の学び(2)
- 事後レポートの比較を通して -
.....増田 吹子 (25)
- 発達症(発達障がい)をもつ人の理解と支援
- 鹿児島県の現状と課題 -
.....堂原 洋子, 清原 浩, 田邊 貴仁 (35)
- 大学教育における「知」・「技」の地域貢献
- 伝統工芸品大島紬を用いた独創的な洋装品製作11年間の試み -
.....西之園君子, 柳井谷夏絵, 谷宮 杏里 (59)
- The Allure of Fantasy, Part Two
.....John de Gruchy (75)
- 報告・資料
図書館と連携した絵本データベース作成の試み
.....森木 朋佳 (87)
- Gプロジェクト2013
Be myself ~素直な気持ちを伝えよう~
.....佐々木 亘, 森永 初代, 濱崎 千鶴
中村 民恵, 末永 勝征 (95)
- 短期大学におけるMoodleの管理と運用
- 学生支援・教育支援サイト -
.....寺田 将春, 末永 勝征 (115)

2015年

鹿児島純心女子短期大学

鹿児島純心女子短期大学研究紀要投稿規程

1. 投稿資格は本学専任教職員であること。ただし、共同研究者についてはこの限りではない。
2. 投稿は、原則として単著・共著に関わらず1人2原稿までとする。
3. 投稿原稿は次の2種類に分けて募集する。
 - (1) 研究論文(Article)。独創的、かつ学術的内容で価値が認められるもの。
 - (2) 報告・資料(Report)。学術研究を目的として実験、調査、統計などのデータをまとめたもの。または事例報告、実践報告など。投稿時に(1)、(2)の種類を申請する。ただし、投稿原稿の内容から判断して変更する場合がある。
4. 原稿は完全原稿であること。

原稿提出後の文章、図表などの改正および書き換えは認めない。
5. 原稿用紙は原則として横書き、A4判、400字詰80枚以内とし(ワードプロセッサ使用の場合、A4判、42字×38行 20枚以内)、欧文では、A4判、double spaceで35枚以内とする。刷り上がり頁にして20頁以内とする。
6. 標題には、必ず欧文のタイトルを併記し、日本語または英語のkey word(5個以内)とアブストラクト(要旨)をつける。アブストラクトは、日本語の場合450字以内とし、英語の場合、150語以内とする。
7. 図表、文献および注の記載方法は、各所属学会・学会誌の投稿規程に準じる。
8. 校正は著者が行い、3校までとする。
9. 別刷は30部まで無料とする。30部を越える別刷、特別別刷および原稿不備などによる印刷代は自己負担とする。

紀要編集委員会

鹿児島純心女子短期大学研究紀要 第45号

平成27年1月31日 印刷

平成27年1月31日 発行

発行者 鹿児島純心女子短期大学
鹿児島市唐湊4丁目22番1号
〒890-8525 TEL099(253)2677(代)
FAX099(254)5247

製作者 (株)鹿児島新生社印刷